

The Shinsei logo consists of the word "Shinsei" in white sans-serif font on a blue square background.

HALLO
neo-7

簡単な操作説明書

ラベルパートナー操作編 / 本体編

はじめに、この説明書は新たに導入されたお客様に簡単ご理解頂くための説明書です。本書に掲載されていない内容につきましては、同梱の取扱説明書をご覧くださいませようお願いいたします。

The Shinsei logo consists of the word "Shinsei" in white sans-serif font on a grey square background.

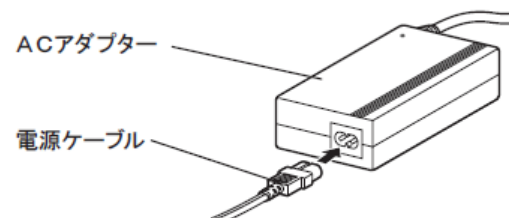
新盛ソリューションズ株式会社

Rev1

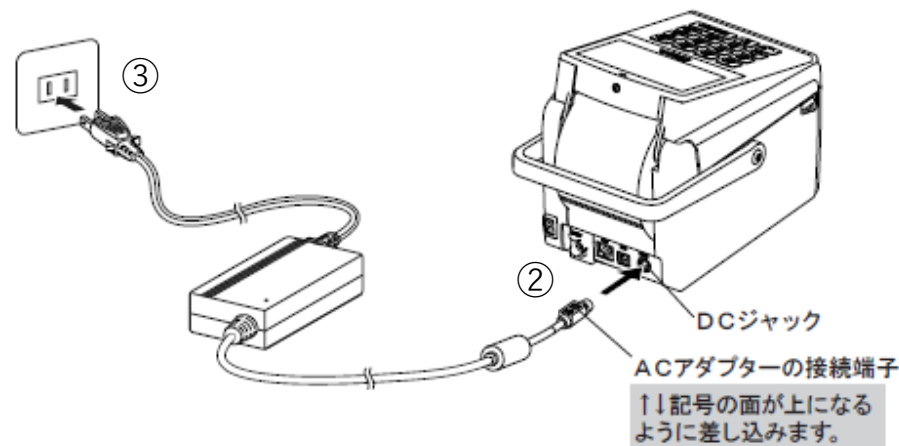
- 1 付属のUSBメモリをパソコンにセットし、ラベルパートナーとUSBドライバーをインストールします。
 - 2 本体とパソコンを通信ケーブル（USB）で接続し、電源スイッチをオンにします。
 - 3 パソコン上でラベルパートナーを起動させて、ラベルに印字したいデータ（プリセットデータ）を作成し、本体に送信します。
- ※ プリセットデータを作成するときに、本体にセットするラベルのサイズ・種類・発行方法・印字開始位置およびラベルの切断位置などの設定を行います。
- 4 設定した発行方法に合わせてラベルを本体にセットします。
 - 5 本体のホーム画面の呼出發行⇒プリセット選択番号画面で、下記サンプルラベルのプリセット選択番号（呼出番号）を入力してラベルを発行します。

ACアダプターの接続

- ① 電源ケーブルをACアダプターに接続します。
- ② ACアダプターの接続端子を本体背面のDCジャックに差し込みます。
- ③ 電源ケーブルのプラグをAC100Vコンセントに差し込みます。

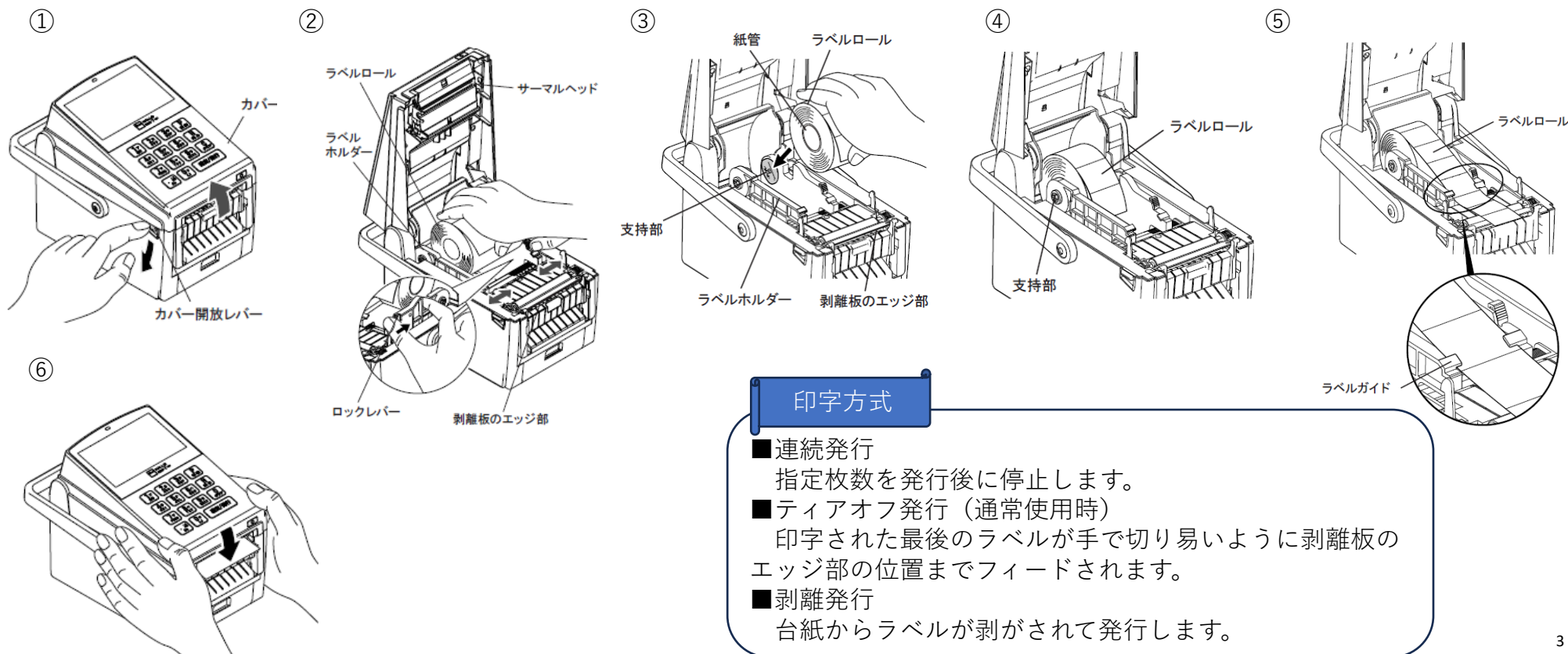


- ④ 電源スイッチを約1秒長押ししてください。電源ランプが点灯し、本体の電源がオンになります。



連続発行・ティアオフ発行の場合(①～④は剥離発行も共通)

- ①カバー開放レバーを押して、カバーを少し開放させてから持ち上げて開きます。
- ②ロックレバーを押しながらラベルホルダーをスライドさせてラベルロールの幅に合わせます。
ラベルロールをはさみながらラベルホルダーの幅を調整したら、ロックレバーを離してラベルホルダーを固定します。
- ③支持部の面取りしてある斜め方向（下図の矢印方向）からラベルロールを挿入します。
- ④支持部にラベルロールの紙管をしっかり引っ掛けます。
- ⑤ラベルロールの先端のラベルをラベルガイドの下に通して、手前に引き出します。
- ⑥ラベルを排出口から取り出せる位置まで引き出して、カバーを両手でカチッと音がするまでゆっくり閉じます。
- ⑦ホーム画面「設定」⇒「3 操作設定」⇒「5 発行前に動作」画面で「カバー開閉後、ラベル位置合わせのために白紙ラベルを発行するか設定します。」を「する」に設定した場合は、新しいラベルに交換して次のラベルを発行する前に自動的に白紙ラベルを発行して位置調整をします。



印字方式

- 連続発行
指定枚数を発行後に停止します。
- ティアオフ発行（通常使用時）
印字された最後のラベルが手で切り易いように剥離板のエッジ部の位置までフィードされます。
- 剥離発行
台紙からラベルが剥がされて発行します。

剥離発行の場合

①～④は連続発行・ティアオフ発行と同じです。(3ページ①～④参照)

⑤剥離フレームを両手の指で下げるように開きます。

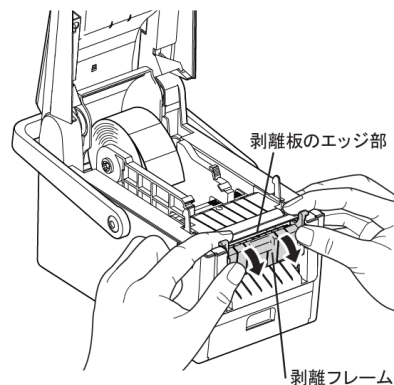
⑥ラベルロールの先端のラベルを引き出してラベルガイドの下を通し、先端のラベルを2～3枚剥がして台紙だけの状態にしてから、剥離フレームと本体とのスリットに通します。

⑦剥離フレームの両側を左右の指でゆっくり閉めます。

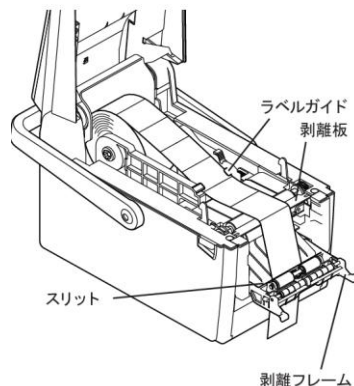
⑧カバーを両手でカチッと音がするまでゆっくり閉じます。

⑨ホーム画面「設定」⇒「3 操作設定」⇒「5 発行前に動作」画面で「カバー開閉後ラベル位置合わせのために白紙ラベルを発行するか設定します。」を「する」に設定した場合は、ラベルを交換してカバーを閉じると、次のラベルを発行する前に自動的に白紙ラベルを発行し、正確な位置調整をします。

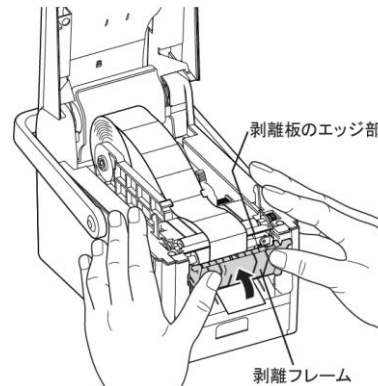
⑤



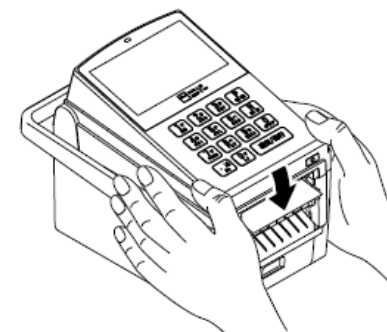
⑥



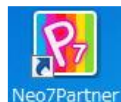
⑦



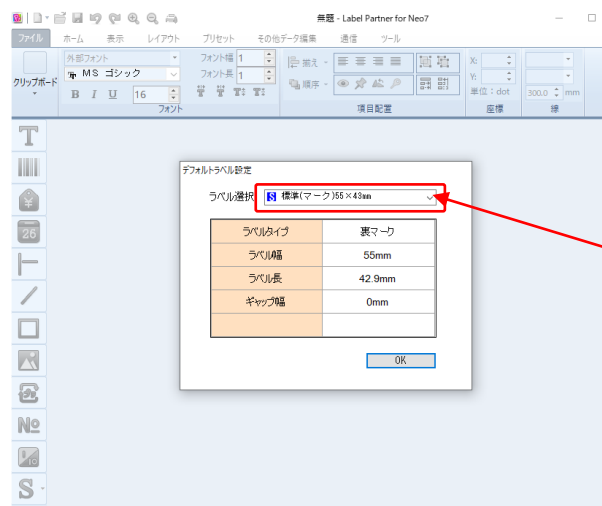
⑧



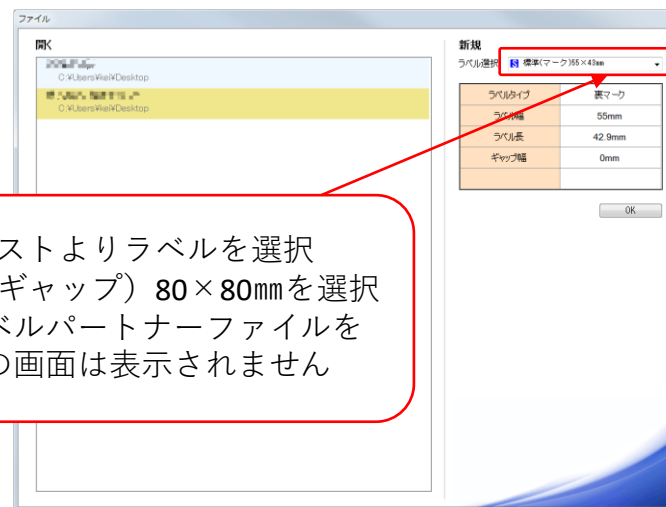
デスクトップのラベルパートナーアイコンをダブルクリックし起動します



ラベルパートナーを初期起動した時

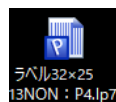


次回以降、ショートカットアイコンからラベルパートナーを起動した時最近開いたファイルが左側のフレームに表示されます。



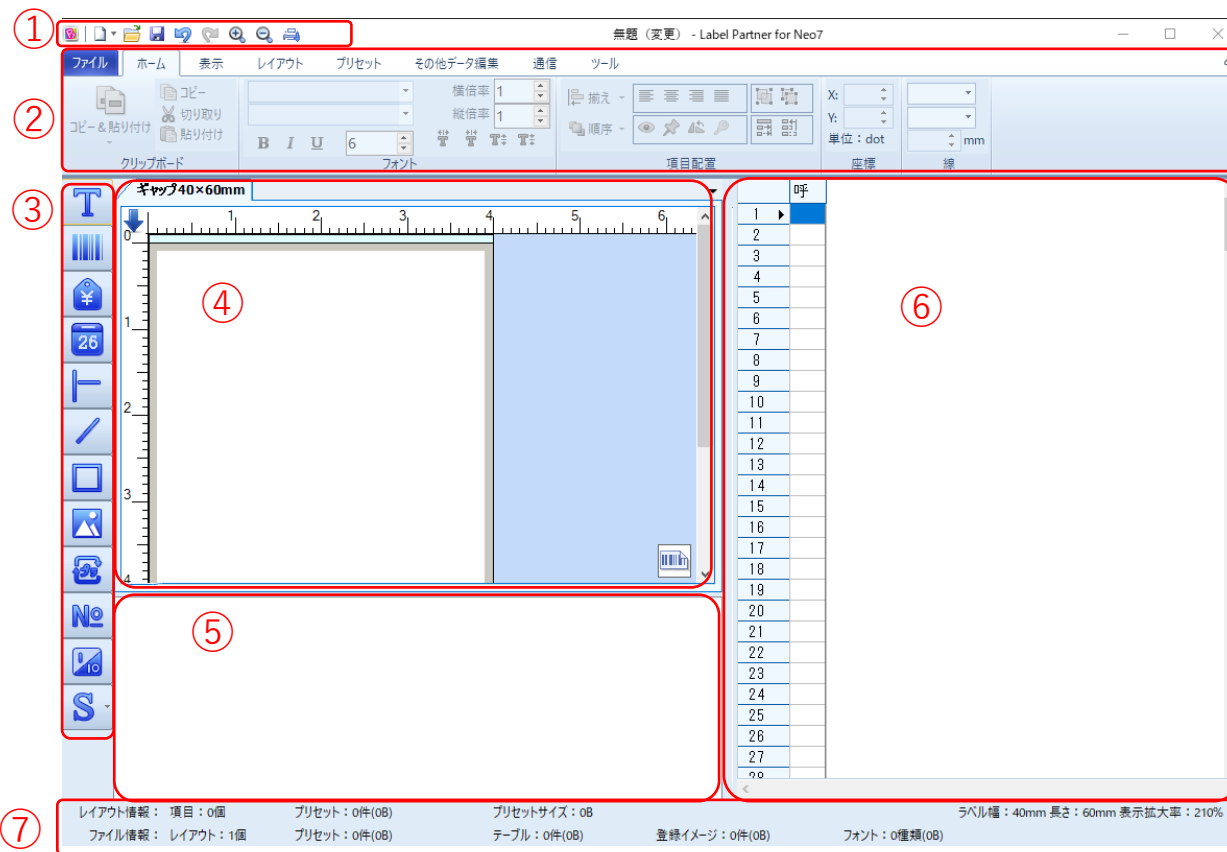
ドロップダウンリストよりラベルを選択
今回（例）は「標準（ギャップ）80×80mm」を選択
※一度、作成したラベルパートナーファイルを
直接開く場合、この画面は表示されません

名前を付けて保存したファイルを直接ダブルクリックし起動も可能です
（拡張子は'lp7'になっています）



【ラベルパートナーの基本事項】ラベル作成 <ラベルパートナー画面>

ラベルパートナー画面が開きます。



①クイックアクセスツールバー
よく使うコマンドのツールボタンが表示されます。

②リボン
リボンメニュー（タブ）でグループ化された各種コマンドが表示されます。

③ツールボックス
項目をラベルに追加するためのツールボタンが表示されます。

④レイアウトエリア
項目をラベルのイメージにレイアウト（配置）するエリアです。タブを追加することによりレイアウトを追加したりラベルサイズを変更したりすることができます。

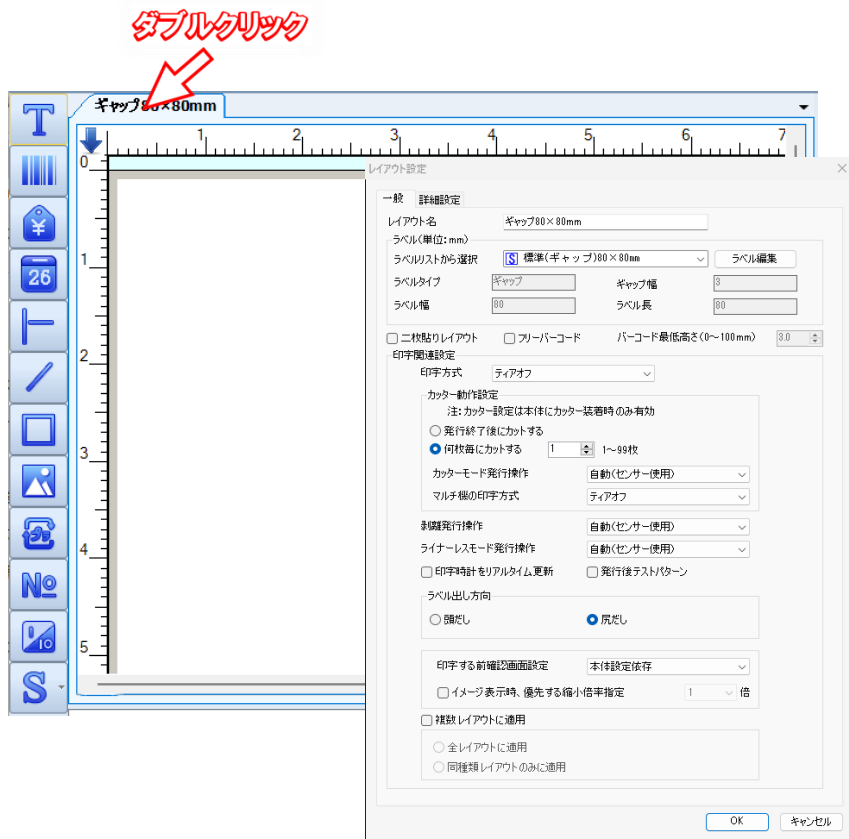
⑤項目一覧エリア
レイアウトした項目が表示されます。

⑥入力エリア
レイアウトした項目に関する項目データの入力を行うエリアです。

⑦ステータスバー
現在編集しているファイルや、表示中のレイアウトに関する基本情報が表示されます。非表示にすることもできます。

【ラベルパートナーの基本事項】ラベル作成 <レイアウト設定>

レイアウトタブをダブルクリックして「レイアウト設定」を開きます



印字方式を選択します

■ティアオフ

印字された最後のラベルが手で切り易いように剥離板のエッジ部の位置まフィードされます。

■連続

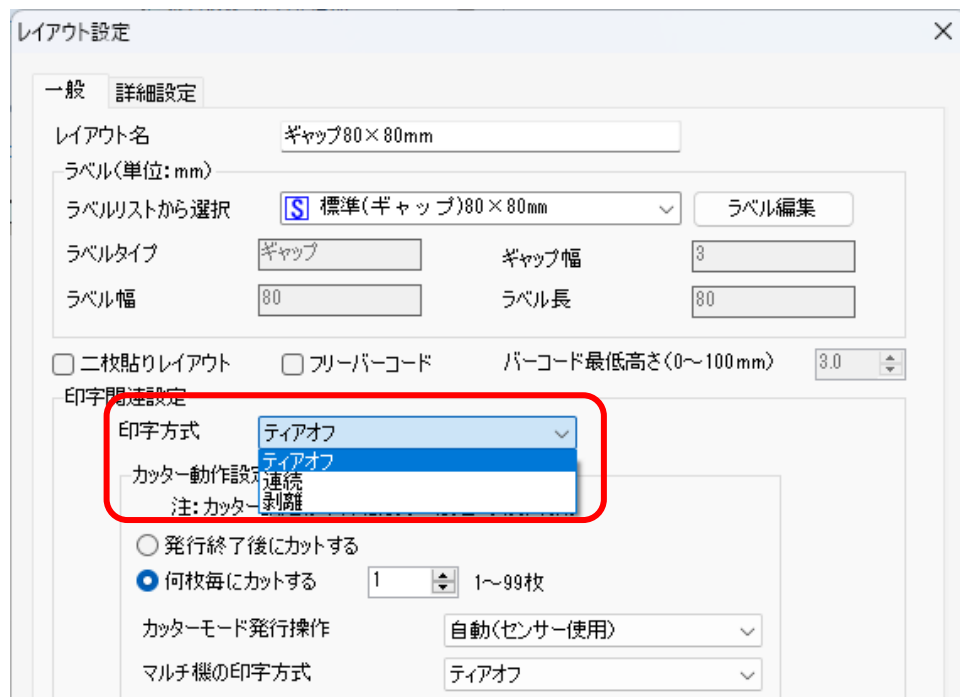
指定枚数を発行後に停止します。

■剥離

台紙からラベルが剥がされて発行します。

※初期設定は「ティアオフ」が選択されています。

剥離発行をしない場合は原則としてティアオフを選択してください。



【ラベルパートナーの基本事項】ラベル作成 <レイアウト設定>

【レイアウト名】：レイアウトタブにレイアウト名を設定することができます。

【ラベル】

■ラベルリストから選択：編集対象のレイアウトで使用するラベルをドロップダウンリストから選択することができます。

■ラベル編集：クリックして「ラベル編集」ダイアログを表示し、「ラベルリストから選択」で設定したラベルの設定内容を変更することができます。

■ラベルタイプ：「ラベルリストから選択」で設定したラベルのラベルタイプ表示されます。

■ギャップ幅：「ラベルリストから選択」で設定したラベルのギャップ幅が表示されます。

■ラベル幅：「ラベルリストから選択」で設定したラベルのラベル幅が表示されます。

■ラベル長：「ラベルリストから選択」で設定したラベルのラベル長が表示されます。

■二枚貼りレイアウト：1レイアウトで2枚のラベルを設定します。

» 2枚目のラベルに項目をレイアウトした後に「二枚貼りレイアウト」のチェックを外すと、2枚目にレイアウトした項目が1枚目の左上に配置されます。

■フリーバーコード：レイアウト上のバーコード高さを自由に変更できます。

■バーコード最低高さ：1~100mmの範囲で設定できます。

【印字関連設定】

■印字方式：「ティアオフ」、「連続」または「剥離」から印字方式を設定することができます。

【印字関連設定】

■発行終了後にカットする：ライナーレスラベルに印字終了後、ラベルをカッター位置まで送り出して自動的にカットします。

■何枚毎にカットする：設定した枚数毎にカッター位置まで送り出して自動的にカットします。

■カッターモード発行操作：「自動（センサー使用）」または「手動（Eキー押下）」を設定することができます。

■剥離発行操作：「自動（センサー使用）」または「手動（Eキー押下）」を設定することができます。

■ライナーレスモード発行操作：「自動（センサー使用）」または「手動（Eキー押下）」を設定することができます。

■印字時計をリアルタイム更新：ラベル印字中でも時計項目をリアルタイムで印字します。

■発行後テストパターン：ラベル発行後、テストパターンラベルを一枚発行します。

■ラベル出し方向

頭だし：ラベルのラベル出し方向が逆視の状態ですラベル発行されます。

尻出し：ラベルのラベル出し方向が正視できる状態でラベル発行されます。

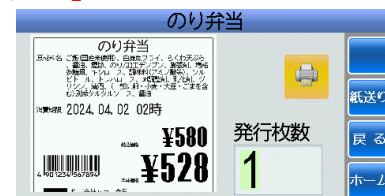
■印字する前確認画面設定：「本体設定依存」、「変更確認項目一覧表示」または「印字イメージ表示」から選択することができます。

イメージ表示後、優先する縮小倍率指定にチェックを入れると、倍率を指定することができます。

■複数レイアウトに適用

全レイアウトに適用：印字関連設定を全レイアウトに適用させます。

同種類レイアウトのみに適用：印字関連設定を同じ種類のレイアウトのみに適用させます。



【ラベルパートナーの基本事項】ラベル作成 <文字項目>

標準ラベルを使用して、次のラベルを作成する手順を説明します



呼出番号 : 1
レイアウト名 : ギャップ80×80mm
ラベルサイズ : 80mm(幅)×80mm(高さ)
ラベルタイプ : ギャップ


ツールボックスを使用してサンプルラベルをレイアウトする方法について説明します。

サンプルラベルの「商品名」「原材料名」「原材料の内容」「会社名」「住所」「電話番号」は、文字列（漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字）ですので文字項目でレイアウトします。



1. 「商品名」項目のレイアウトを行います。



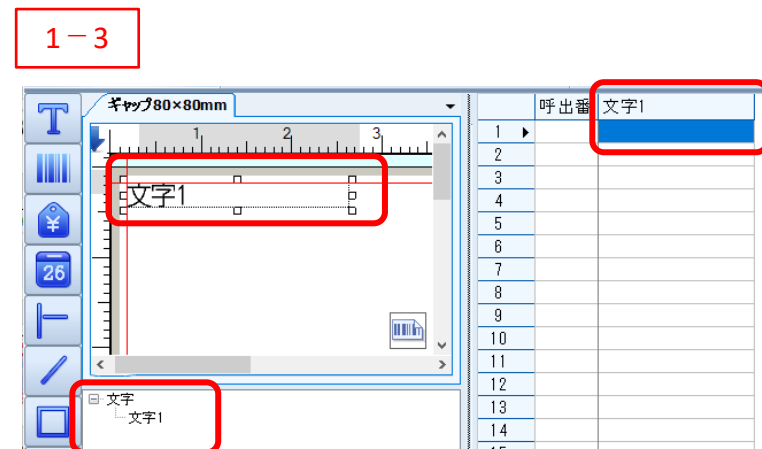
1-1 ツールボックスの「文字項目を追加」アイコン  をクリックします。

1-2 レイアウトエリアで開始位置をクリックします。

1-3 クリックした位置を始点として、「文字1」項目がレイアウトされます。
同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも「文字1」項目が作成されます。

1-4 レイアウトされた「文字1」をダブルクリックすると表示される文字項目のプロパティで次のように設定します。

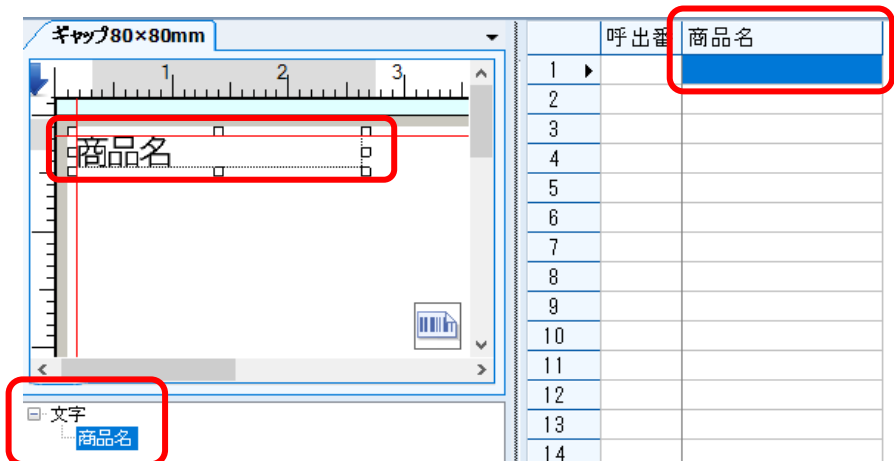
- ・名称：名称：「文字1」→「商品名」に変更します。
- ・データ元：「通常入力」を選択します。



 商品名のように複数のアイテムを入力する場合は、通常入力を使用！

文字項目

データ	詳細	ナンバーリング
名称	<input type="text" value="商品名"/>	
桁数(半角)	<input type="text" value="18"/>	<input type="checkbox"/> 桁数固定
データ元(データ・ソース)	<input checked="" type="radio"/> 通常入力 <input type="radio"/> 合成	
	<input type="radio"/> テーブルから取得 <input type="radio"/> リンク	
	<input type="radio"/> 固定データ <input type="radio"/> 演算	



設定と同時に、

- ・入力エリアの「文字1」→「商品名」に変更されます。
- ・項目一覧エリアの「文字1」→「商品名」に変更されます。

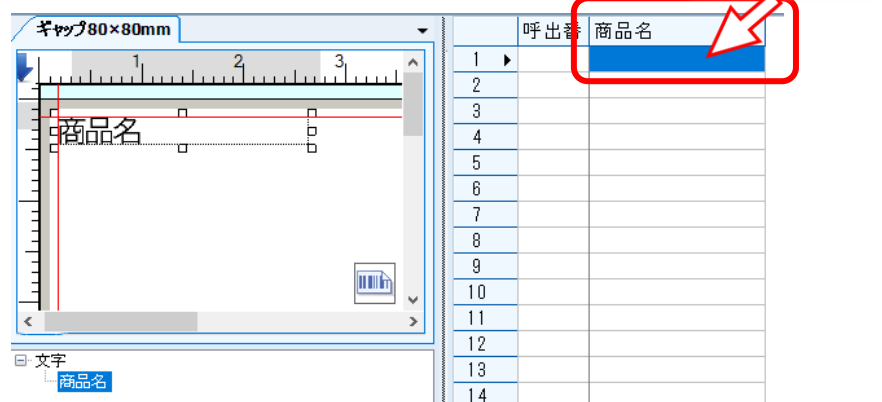
1-5 入力エリアの「商品名」列の1行目の青く反転しているセルをダブルクリックします。

1-6 サンプルラベルのように「のり弁当」と入力し、呼出番号(※1)には「1」と入力し、1行目の「呼出番号」セルをクリックします。すると、レイアウトエリアの「商品名」項目に「のり弁当」と入力されます。

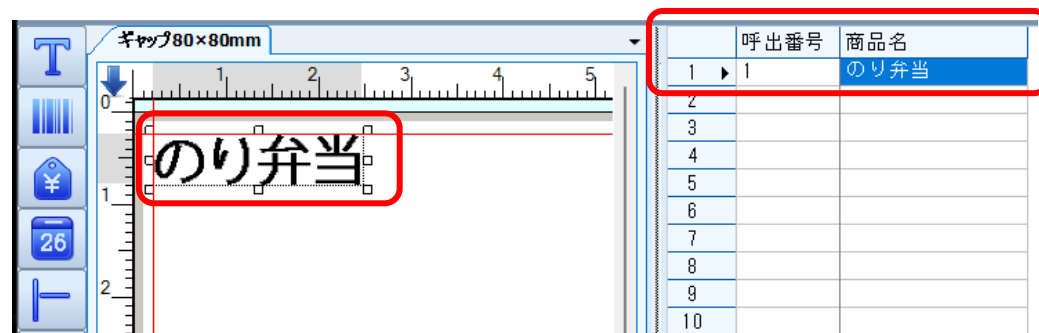
(※1)呼出番号は連番で自動作成することができます。

入力エリア内で右クリックし「呼出番号自動作成」を選択します。または、入力エリアの「呼出番号」列で、呼出番号の自動作成を行いたい範囲の先頭セルから末尾セルまでをドラッグで範囲指定し、その範囲上で右クリック⇒「呼出番号自動作成」を選択します。

1-5




1-6



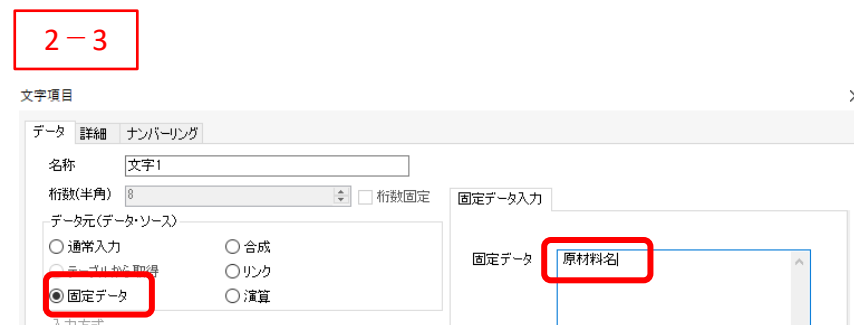
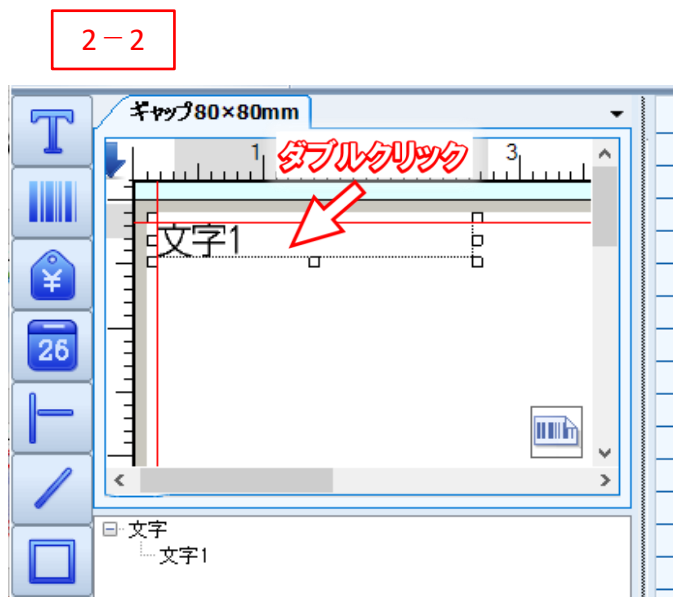
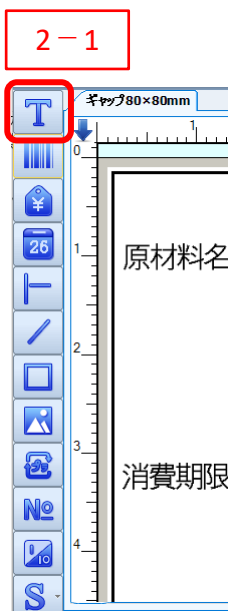
2. 次に、「原材料名」項目をレイアウトします。



2-1 ツールボックスの「文字項目を追加」アイコン  で「原材料名」項目をレイアウトします。

2-2 レイアウトされた「文字1」をダブルクリックすると表示される文字項目のプロパティで2-3のように設定します。

2-3 「原材料名」項目は、通常変更することはありませんので、文字項目のプロパティの「データ元」で「固定データ」にチェックマークを付けます
「固定データ入力」に「原材料名」と入力します。



2-4

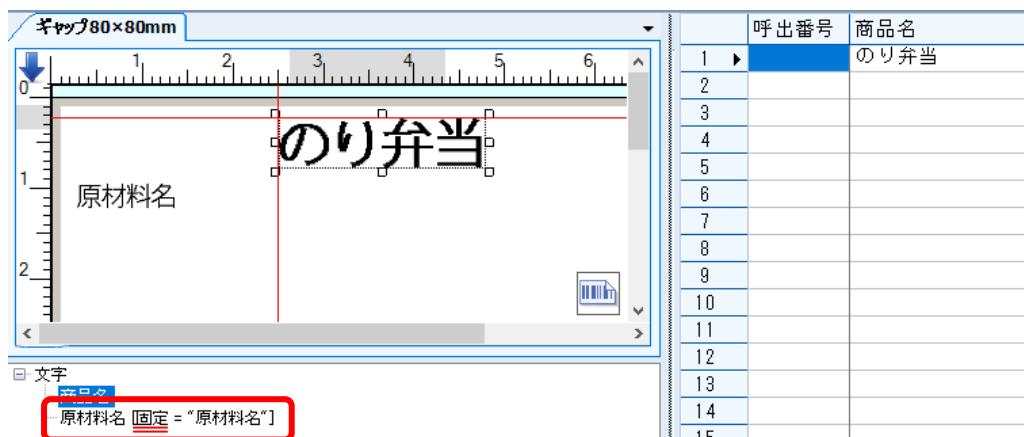


2-4 「原材料名」項目は、文字項目のプロパティの「フォント名」(「詳細」タブ)で「漢字ゴシック(8pt, 2.8mm)」を選択し[OK]をクリックします。

※「固定データ」を選択すると、入力エリアに「原材料名」の列は作成されませんが、項目一覧エリアには「原材料名」項目が作成され「固定」と表示されます。



原材料名のように不変の項目は、固定データを使用！



呼出番号	商品名
1	のり弁当
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【ラベルパートナーの基本事項】ラベル作成 <文字項目>

3. 次に「原材料内容」と「会社名」項目をレイアウトします。



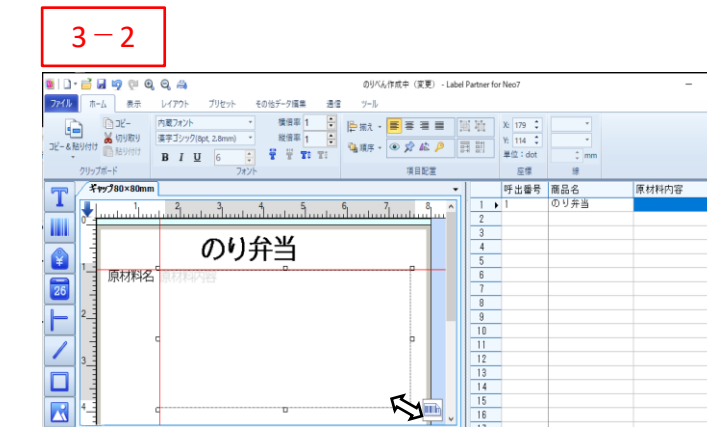
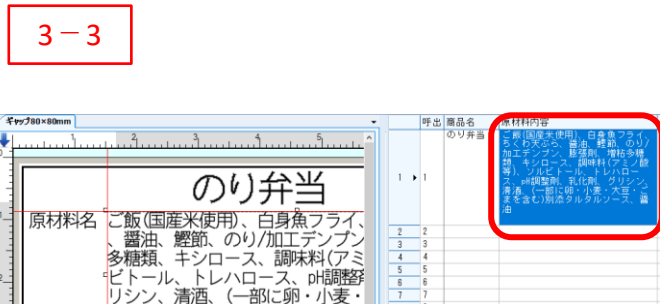
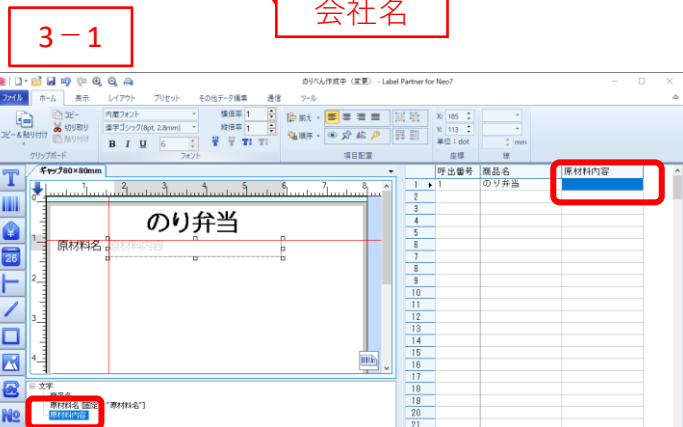
3-1 ツールボックスの「文字項目を追加」  アイコンで「原材料内容」項目をレイアウトします。

同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも「原材料内容」項目が作成されます。


3-2 「原材料内容」項目のハンドルをドラッグしてテキストボックスを作ります。「原材料内容」項目が6行で入力されていますので、テキストボックスを作成すると便利です。

3-3 入力エリアの「原材料内容」セルにサンプルデータのように「ご飯(国産米使)、白身魚フライ…醤油」と入力します。

※改行をしたいときはShift キーまたはCtrl キーを押しながらEnter キーを押します。



同様に、「会社名」項目（会社名・住所・電話番号）をレイアウトします。


① 「文字項目を追加」アイコン  で「会社名」項目をテキストボックスでレイアウトします。同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも「会社名」項目が作成されます。

② 「会社名」項目のハンドルをドラッグしてテキストボックスを作ります。「会社名」項目が3行で入力されていますので、テキストボックスを作成すると便利です。

③ 入力エリアに、サンプルラベルのように「株式会社・・・」と、Shift キーまたはCtrl キーを押しながらEnter キーで改行し、「東京都・・・」、「TEL・・・」と入力します。 14

4. 次に「消費期限」項目をレイアウトします。

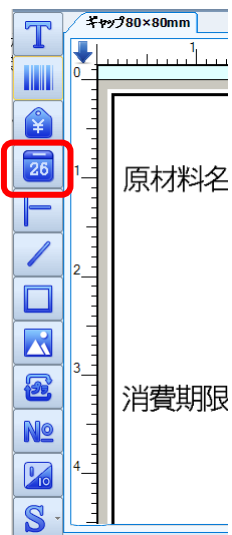


4-1 ツールボックスの「日付と時刻項目を追加」アイコン  で「消費期限」項目をレイアウトします。

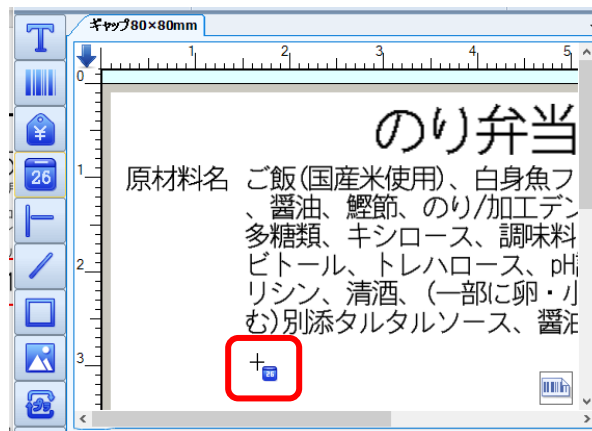
4-2 レイアウトエリアで開始位置をクリックします。

4-3 クリックした位置を始点として、本体の内蔵時計の日付項目と時刻項目がレイアウトされます。
同時に、項目一覧エリアに日付項目⇒日付1、時刻項目⇒時刻1項目が作成されます。

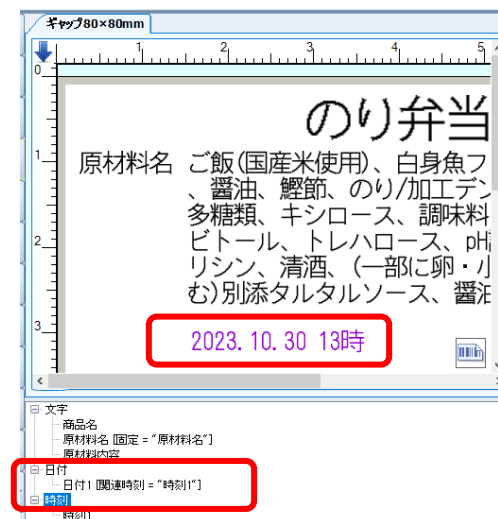
4-1



4-2



4-3



4-4

4-4 レイアウトエリアの日付項目をダブルクリックし日付項目のプロパティを開きます。
今回のサンプルは左記の通り設定しています。
設定が完了したら「OK」をクリックし、日付項目のプロパティを閉じます。

4-5 入力エリアの「補正(時)」に補正時間を入力します。
(サンプルはラベル発行から6時間後を消費期限としているので、「6」と入力しています)

 日付補正で誰が操作しても決められた期限を印字！

日付補正とは？

消費期限や賞味期限は、現在の日時よりも数日後または数時間後が期限となります。

日付補正とはneo7本体の内蔵時計に加算する日付の設定です。


例えば、発行日から120 日後の日付を賞味期限に表示したければ、補正(日)に120 と入力します。

	呼出番号	保存方法	補正(日)
1	1	直射日光、高温多湿を避けて保存...	120
2			
3			
4			
5			

4-5

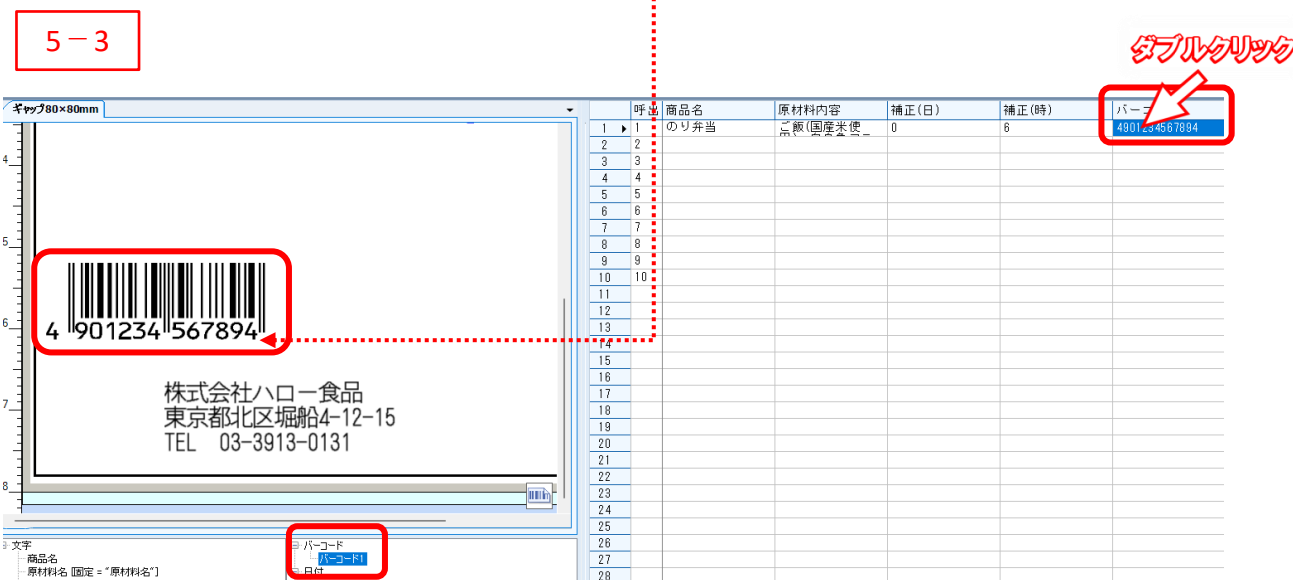
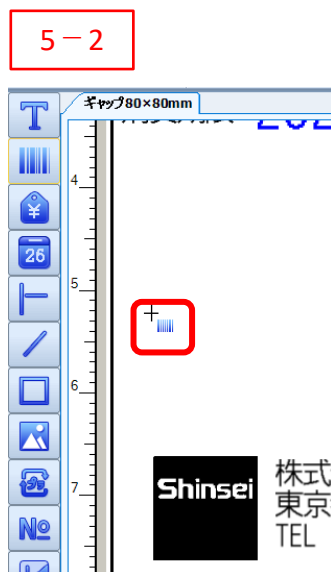
5.次に「バーコード」項目をレイアウトします。



5-1 ツールボックスの [バーコード項目を追加] アイコン  で「バーコード」項目をレイアウトします。

5-2 クリックした位置を始点として、バーコード 1 項目がレイアウトされます。同時に、入力エリアと項目一覧エリアにもバーコード 1 項目が作成されます。

5-3 入力エリアのバーコード 1 の列の 1 行目の青く反転しているセルをダブルクリックして、サンプルラベルのように半角数字 1 2 桁で付帯文字を入力して 1 行目の呼出番号セルをクリックします。
すると、レイアウトされたバーコード 1 項目に付帯文字が入力されます。




バーコードは通常のJANコードのほか、価格を含むNONPLUバーコードも簡単に作れます！
また、QRコードも作成できます！！(HPのURLをQRコードにしアピール)

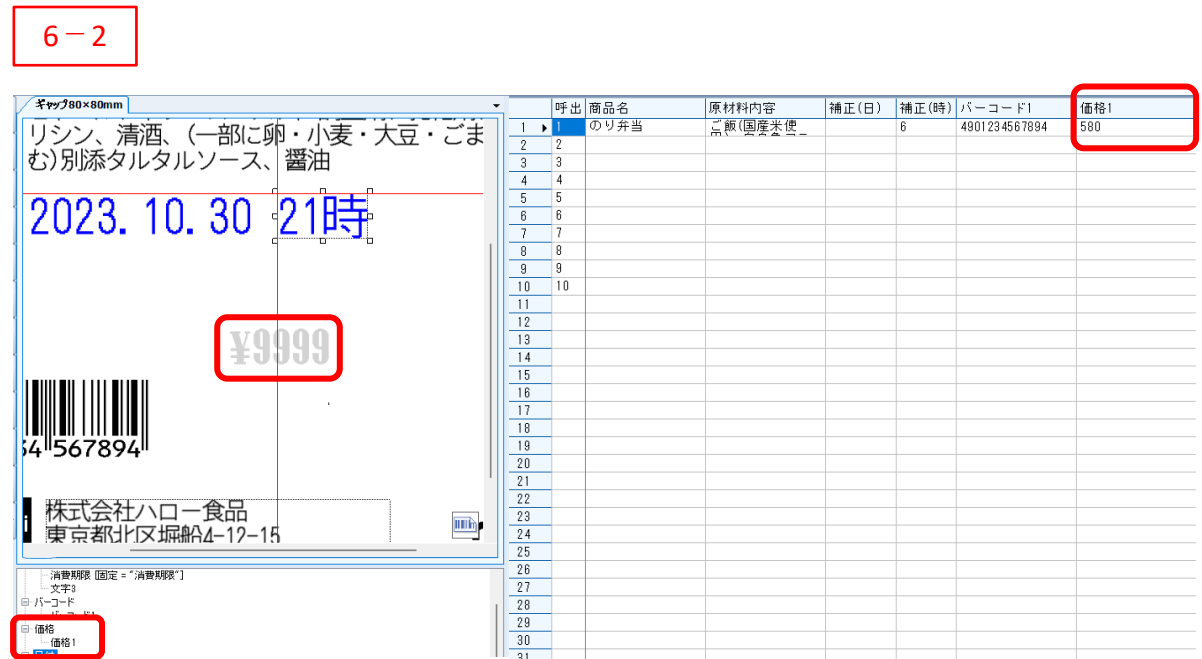
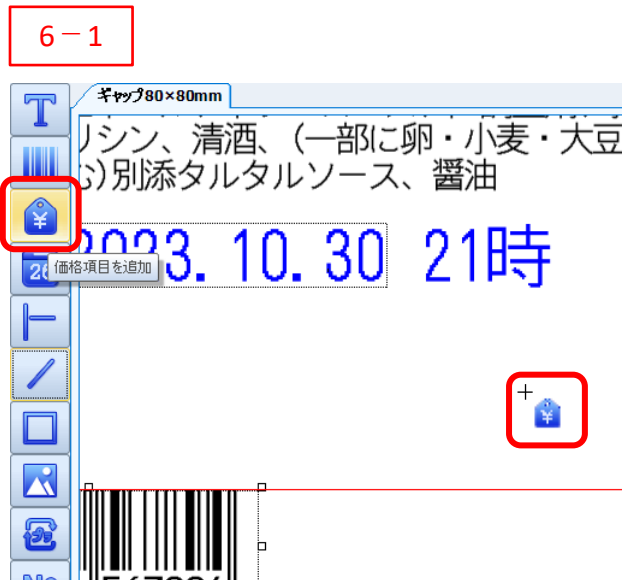


6.次に「価格」項目をレイアウトします。



6-1 ツールボックスの [価格項目を追加] アイコン  で「価格」項目をレイアウトします。

6-2 クリックした位置を始点として、価格項目がレイアウトされます。同時に、入力エリアと項目一覧エリアにも価格 1 項目が作成されます。



6-3

	呼出	商品名	原材料内容	補正(日)	補正(時)	バーコード1	価格1	文
1	▶ 1	のり弁	ご飯(国産米)		6	4901234567...	580	株
2	2							

ダブルクリック

6-4



ダブルクリック

6-3 入力エリアの価格1列の1行目の青く反転しているセルをダブルクリックして、サンプルラベルのように半角数字で「580」と入力して1行目の呼出番号セルをクリックします。
すると、レイアウトされた価格1項目に「¥580」と入力されます。

6-4 今回のラベルは、税込価格と本体価格を表示していますので、レイアウトされた「¥580」をダブルクリックして「価格項目のプロパティ」を開き、「総額表示設定」の「税込価格」を選択します。
すると、「税込価格 ¥580」「本体価格 ¥538」「税額 ¥42」と表示されます。今回のサンプルラベルは「税額」は表示しないので「¥42」をクリックして「Delete」キーで削除します。



標準税率、軽減税率に対応！
端数処理（切捨て、切上げ、四捨五入）も選択できます！！

価格項目

詳細 データ

名称 価格1

項目内配置

データ位置 右寄せ

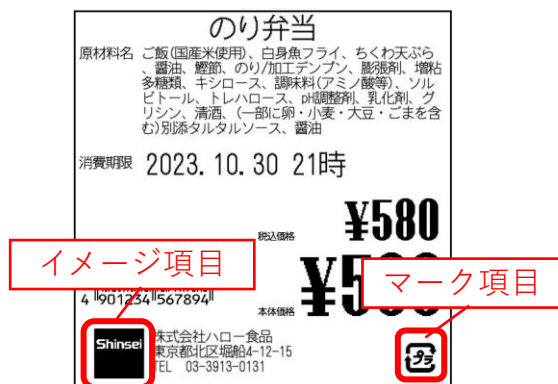
総額表示設定

価格タイプ 税込価格


☒ 税込価格桁数を本体価格と同様



7.次に「イメージ」項目をレイアウトします。



イメージ項目は、会社ロゴなどのイメージデータをレイアウトエリアに描画します。
 » カラーイメージは、白黒に変換されます。

7-1 ツールボックスの「イメージ項目を追加」アイコンを  クリックします。
 「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

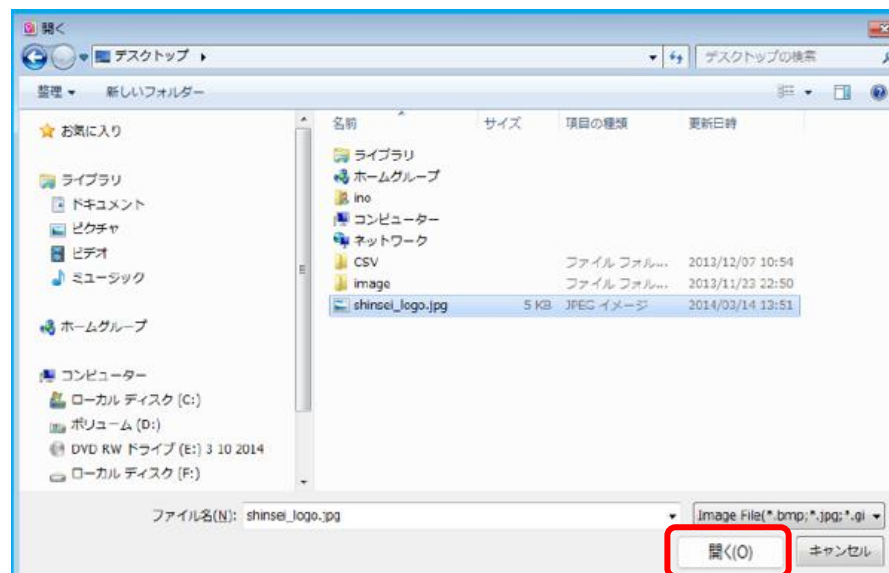
7-2 イメージデータが保存されているファイルを選択し「開く」をクリックします。

7-3 画像の白黒変換画面が表示されますので、白黒画像が鮮明になるように最適なしきい値を選択して「OK」をクリックします。

7-1

7-2

7-3



7-4



7-5



7-4 クリックした位置を始点として、イメージデータが描画されます。
同時に、項目一覧エリアにイメージ項目⇒shinsei_logo が作成されます。
» 入力エリアには、イメージの列は作成されません。

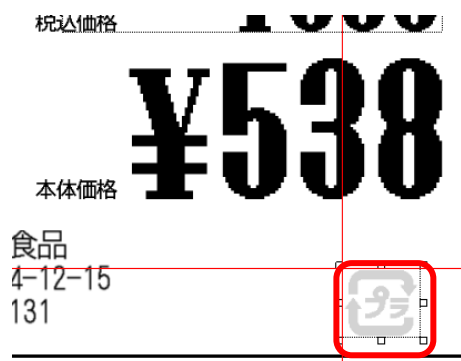
7-5 イメージデータのハンドルをドラッグしてサイズ調整します。

8.次に「マーク」項目をレイアウトします。

8-1



8-1 ツールボックスの「マーク項目を追加」アイコンをクリックし、レイアウトエリアで開始位置をクリックします。
クリックした位置を始点として、リサイクルマークがレイアウトされます。同時に、入力エリアと一覧エリアにマーク1項目が作成されます。




» マーク項目のプロパティの「データ」タブで固定データに設定した場合は、入力エリアにマーク1の列は作成されません。
» マーク項目の詳細設定については、ラベルパートナー取扱説明書6.11 マーク項目のプロパティ」を参照してください。
» 入力エリアにマーク1の列が作成された場合は、セル内のドロップダウンリストから「なし」・「プラ6mm」・「紙6mm」から選択することができます。

9.次に「四角形項目」項目をレイアウトします。



四角形項目

ツールボックスの「四角形項目を追加」アイコン  をクリックし、レイアウトエリアで四角形1を開始する位置をクリック⇒向かい合う角の位置までドラッグします。クリックした位置を始点、ドラッグを終了した位置を終点として、四角形が描画されます。

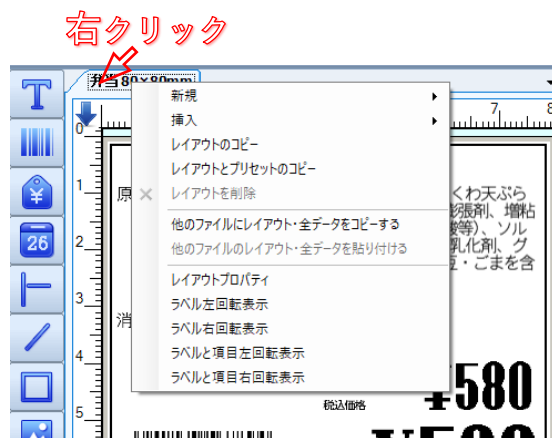
同時に、項目一覧エリアに四角形項目⇒四角形1が作成されます。

» 入力エリアには、四角形項目の列は作成されません。



【ラベルパートナーの基本事項】ラベル作成 <レイアウトの追加>

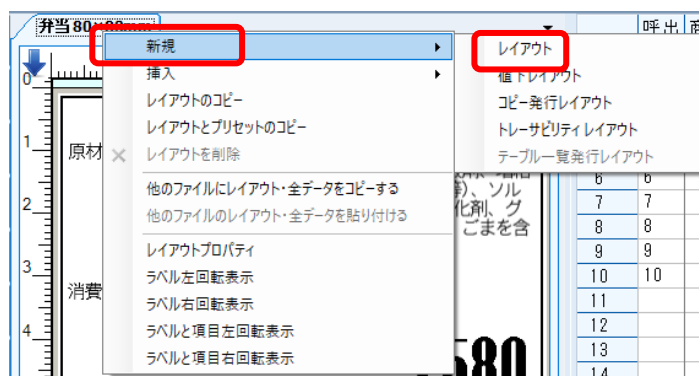
レイアウトタブを右クリックするとレイアウトタブのショートカットメニューが開きます



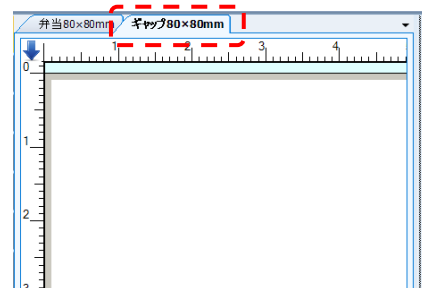
[新規]

新しいレイアウトを現在のレイアウトタブの次に追加します。

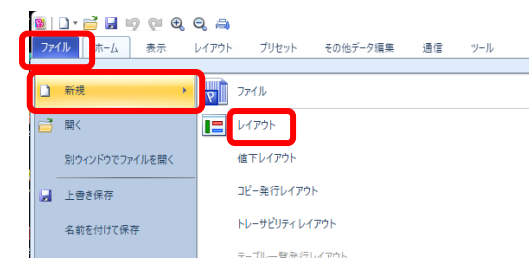
[新規]⇒[レイアウト]を選択します。



新規レイアウトが右側に追加されます



[ファイル] メニュー⇒ [新規]
⇒ [ファイル] を順に選択しても同様に操作ができます。

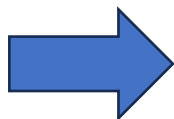
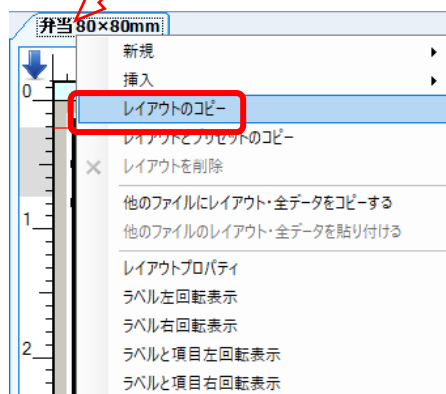


[レイアウトのコピー]

レイアウトをコピーすることができます

レイアウトエリアのタブ部分を右クリック
⇒ [レイアウトのコピー] を選択します。

右クリック



レイアウトエリアに、右クリックしたレイアウトがコピーされます。
右クリックしたレイアウトの次のタブにコピーされます。ただし、
項目データは、コピーされません。

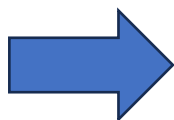
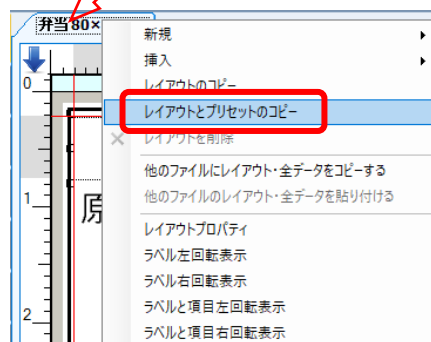


[レイアウトとプリセットのコピー]

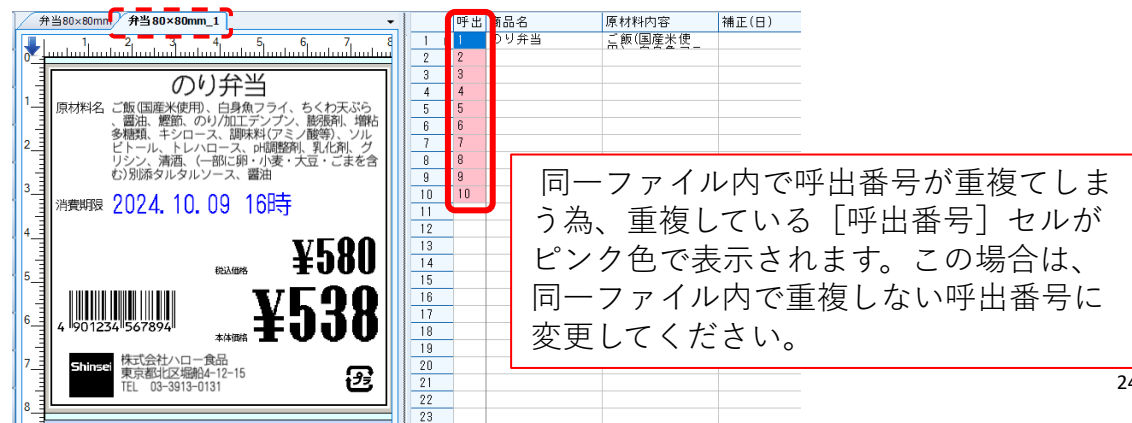
レイアウトと項目データをコピーすることができます

レイアウトエリアのタブ部分を右クリック⇒ [レイアウトとプリセットのコピー] を選択します。

右クリック



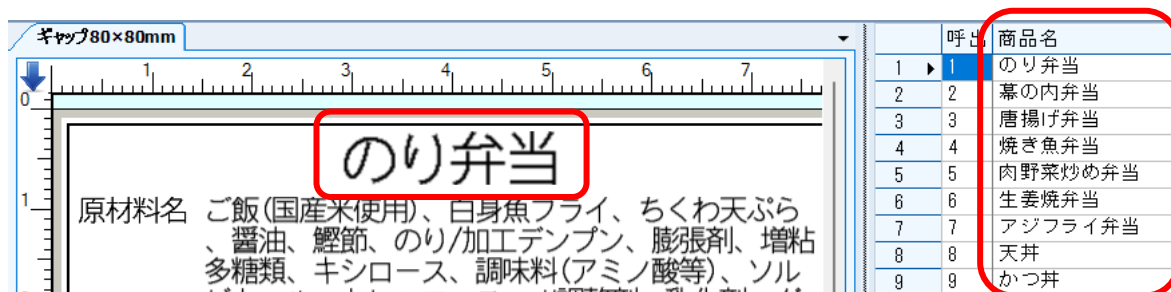
レイアウトエリアに、右クリックしたレイアウトがコピーされます。
入力エリアに、右クリックしたレイアウトの項目データがコピーされます。
右クリックしたレイアウトの次のタブにコピーされます。



【ラベルパートナーの基本事項】ラベル作成 <キー項目設定>

キー項目について説明します

本体でラベル発行・登録・編集などをするとき、項目データのタイトルとしての項目（キー項目）に設定することができます。



↓ neo7 本体画面 (3インチ)

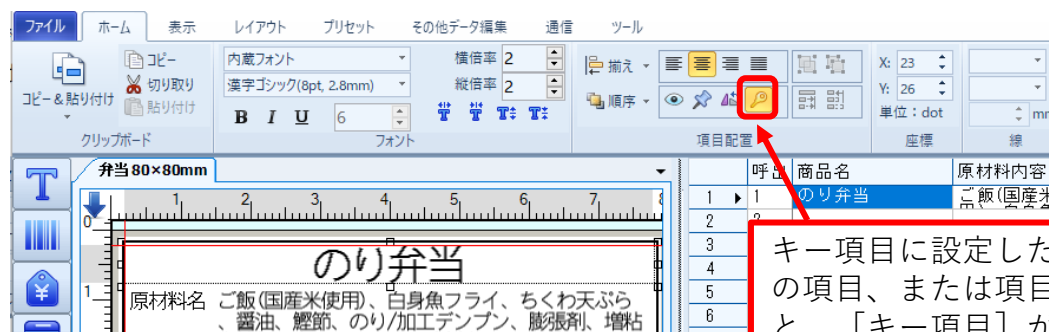
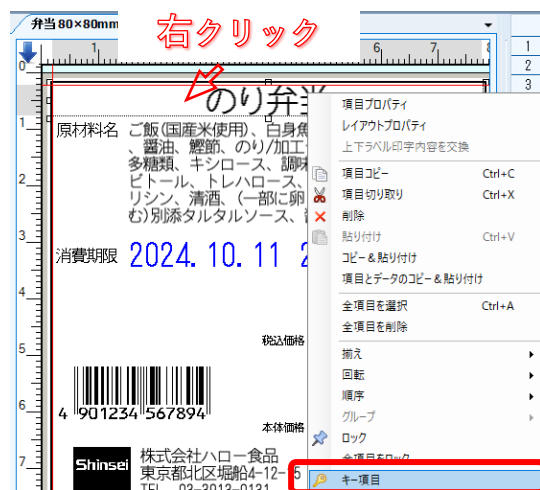


初期設定では、レイアウトに最初に設定された項目がキー項目となりますが、以下の操作でキー項目を変更することができます。

1. キー項目を設定する項目上で右クリック⇒ [キー項目] を選択します。

選択した項目が呼出发行時の表示項目として設定されます。

キー項目に設定できるのは、1 レイアウト中、1 項目です。他の項目をキー項目に設定すると、元のキー項目設定は削除されます。



キー項目に設定したレイアウトエリアの項目、または項目データを選択すると、[キー項目] が背景色付きで表示されます。

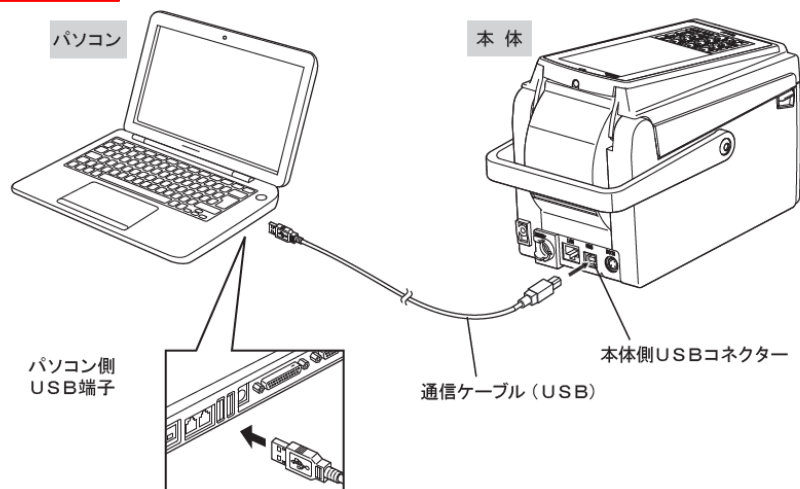
【本体編】 通信(ラベルパートナーデータを送信)

10.通信モード

10-1 neo7本体とラベルパートナーがインストールされたパソコンを付属の通信ケーブル（U S B）で接続します。

10-2本体の電源スイッチを約 1 秒長押しして、［通信］アイコンにタッチして、本体を通信モードにします。

10-1



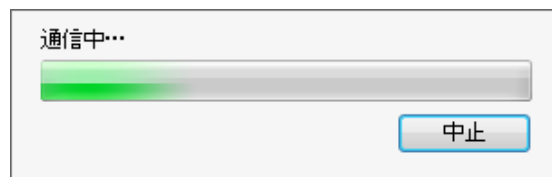
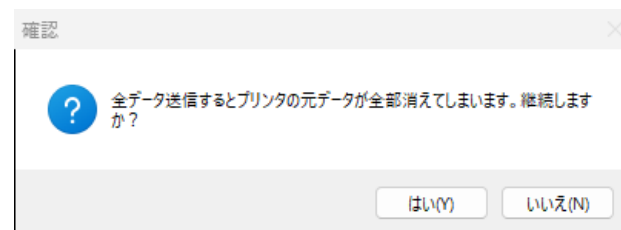
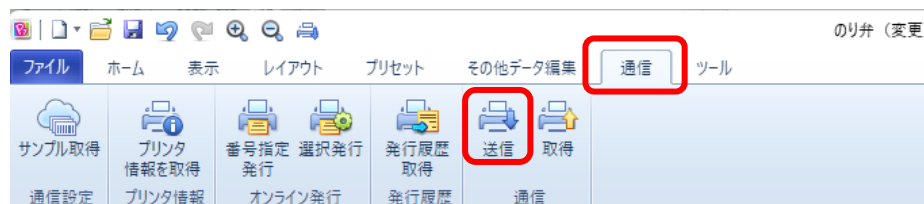
10-2



送信

現在開いているファイルの全データを本体に送信します。

» 送信する時は、本体を［通信モード］にしてください。

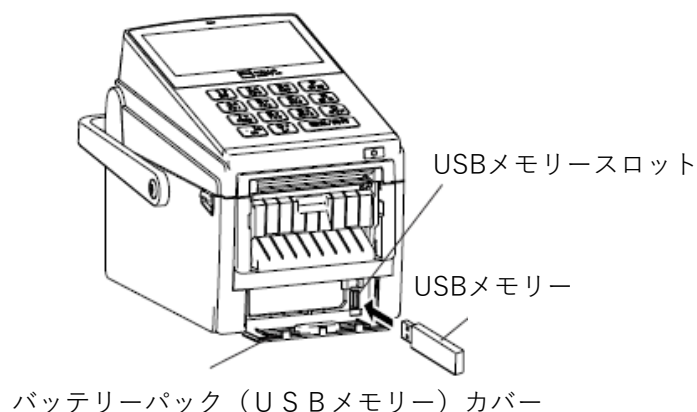


パートナーファイルをUSBメモリーに保存します

※USBメモリーを本体に挿入してください

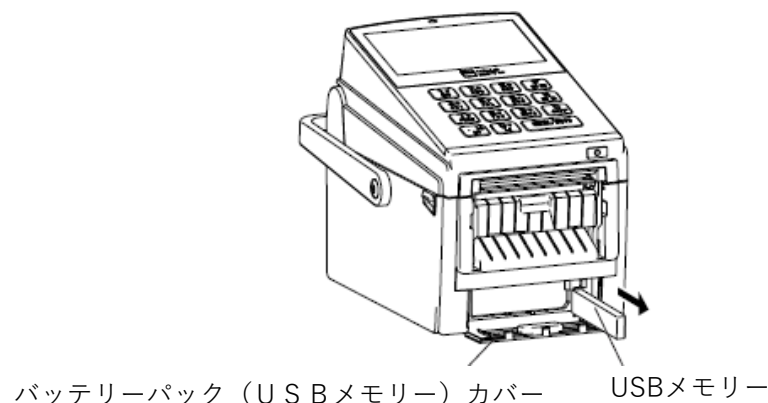
USBメモリーの挿入

- ①バッテリーパック（USBメモリー）カバーを手前側に開きます。
- ②USBメモリーをUSBメモリースロットにまっすぐ奥まで差し込みます。




USBメモリーの取り出し

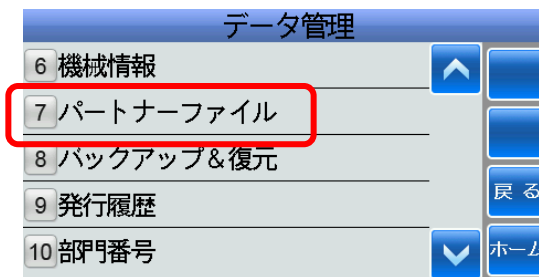
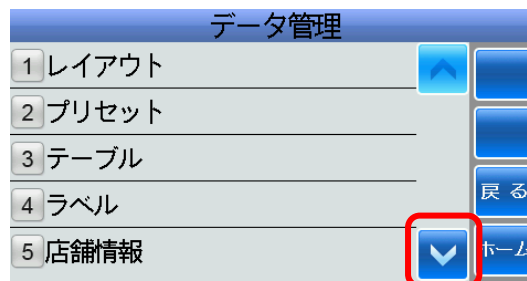
- ①USBメモリーを手前にまっすぐ引き抜きます。
- ②バッテリーパック（USBメモリー）カバーを閉めます。



- ① [データ管理] アイコンをタッチします

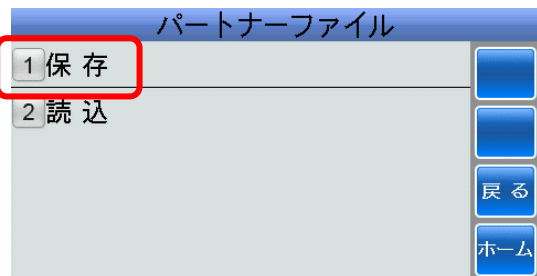


- ②  をタッチし ⑦ パートナーファイルをタッチします

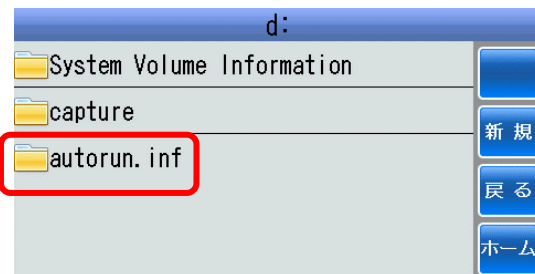


【本体編】 ラベルパートナーファイルをUSBメモリーに保存

③ ①保存をタッチしてUSBメモリーにラベルパートナーファイルを保存します。



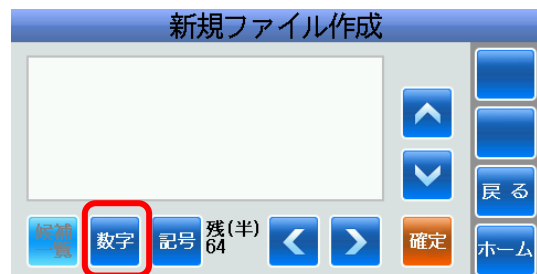
④ 1USBメモリーに保存されているフォルダーが表示されます。
ここでは「autorun.inf」フォルダーをタッチして保存します。



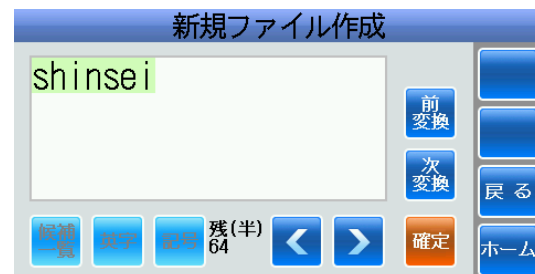
⑤ 「autorun.inf」フォルダーが表示されます。
新規にファイルを作成する場合は新規をタッチします。



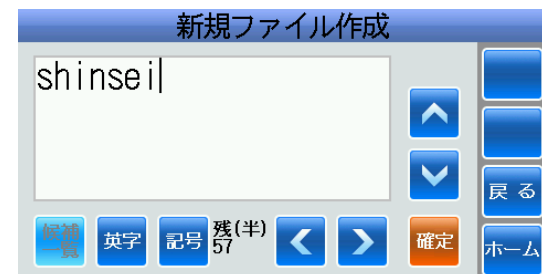
⑥ 新規ファイル作成画面が表示されます。



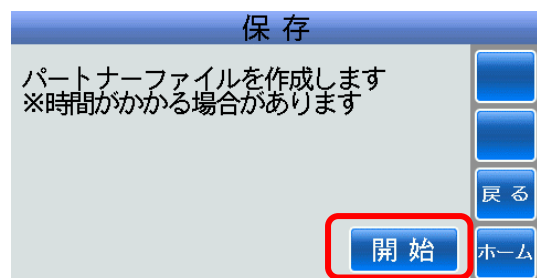
⑦ ここでは英字モードにしてタッチキーで[shinsei]と入力し **確定/発行** キーをタッチして確定させます。



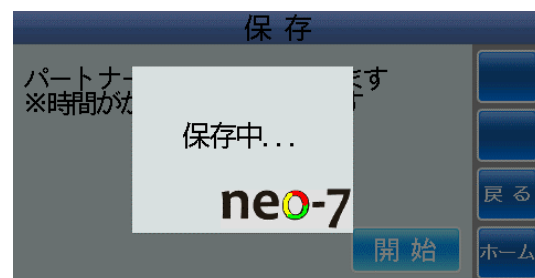
⑧ もう一度、**確定/発行** キーをタッチします。



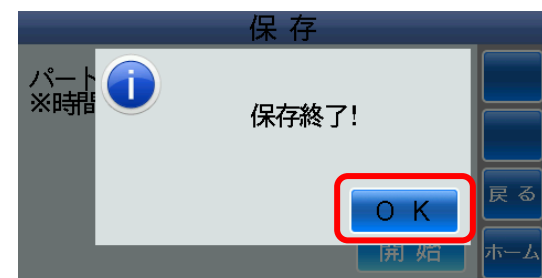
⑨ 保存画面が表示されます。
保存する場合は開始キーをタッチします。



⑩ ファイル保存中



⑩ 保存が終了しました。
[OK]をタッチします。

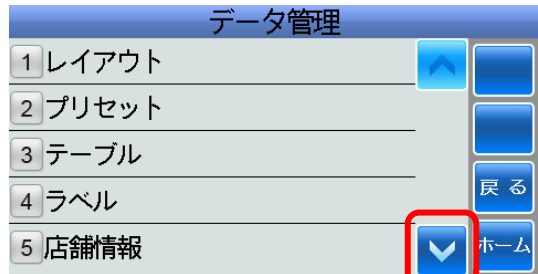


【本体編】 ラベルパートナーファイルをUSBメモリーから読み込み

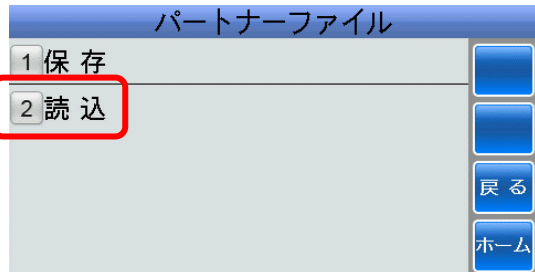
① [データ管理] アイコンをタッチします



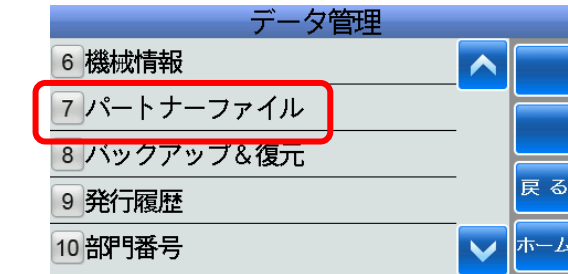
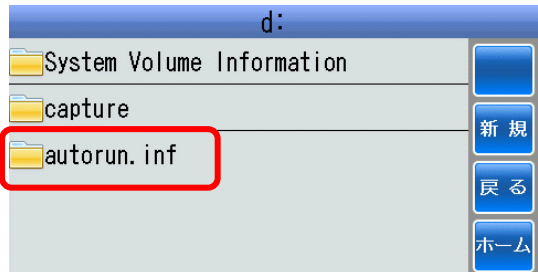
② [データ管理] をタッチし [7] パートナーファイルをタッチします



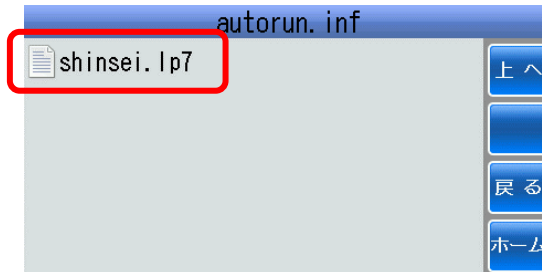
③ [2] 読込をタッチしてUSBメモリーからパートナーファイルを読み込みます。



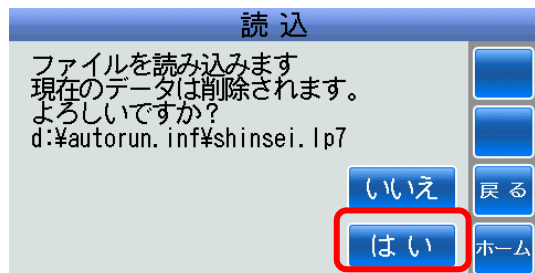
④ USBメモリーに保存されているフォルダーが表示されます。
ここでは「autorun.inf」フォルダーをタッチして読み込みます。



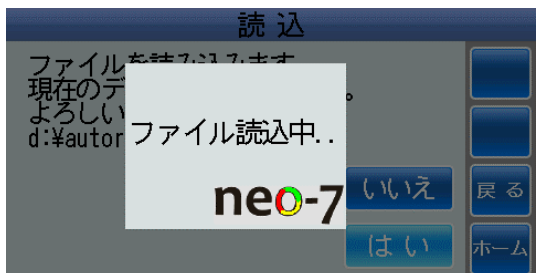
⑤ 「autorun.inf」フォルダーが表示されます。
ここでは「shinsei_lp7」をタッチします。



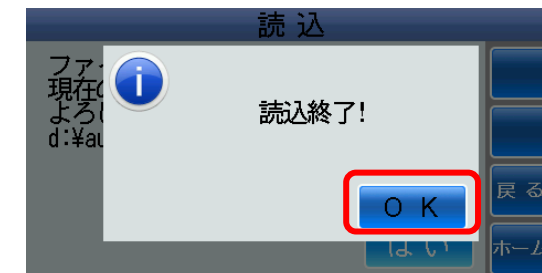
⑥ 読込画面が表示されます。
読込をする場合は、はいをタッチします。



⑦ ファイル読込中



⑧ はいをタッチすると、読込終了画面が表示されて読込が終了します。
OKをタッチします。




【本体編】 ラベル発行＜呼出發行＞

本体に登録（プリセット）されているプリセットデータ呼び出して、ラベル発行を行います。

電源を入れると、ホーム画面が表示されます。「呼出發行」アイコンにタッチします。

プリセット選択番号を入力します。

たとえば、サンプルラベルは、プリセット選択番号[1]に登録されていますので、または数字ボタンで[1]と入力し、[次へ]または[確定/発行]ボタンを押します。

ここでは、のり弁当がキー項目に設定されています。

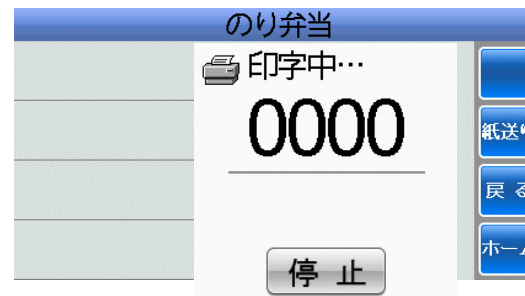
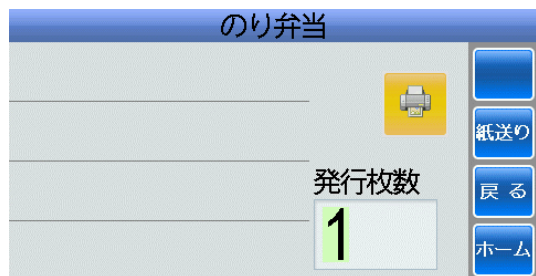


発行枚数をボタンキーで入力し、 または [確定/発行]ボタンを押します。

発行中の画面が表示されます。

※ 複数枚発行中、[停止] キーにタッチするとラベル発行を一時停止し、印字を再開するか設定できます。

[はい] キーを押すとラベルの発行を再開します。



発行後、設定された画面に戻ります。

オンライン発行※本体とパソコンをUSBケーブルで接続して行ってください

1. 画面データを印字発行（入力エリア）
2. 番号指定発行（オンライン発行）
3. 選択発行（オンライン発行）

1. 画面データを印字発行（入力エリア）プリセットデータを呼出番号・枚数を指定してラベル発行することができます。

※ 本体にデータは登録されません。

①入力エリア内で右クリック⇒「画面データを印字発行」を選択します。

「1 プリセットを発行」ダイアログが表示されます。

②「呼出番号」と「発行枚数」を指定して、「OK」をクリックします。

指定した呼出番号のラベルが、指定した枚数分発行されます。

	呼出	商品名	原材料内!	
1	1	のり弁当	ご飯(国産)	
2	2	幕の	コピー	
3	3	唐揚げ	切り取り	
4	4	焼き	削除	
5	5	肉	貼り付け	
6	6	生	行挿入	
7	7	ア	行削除	
8	8	天	プリセットデータシートに行追加	
9	9	か	入力後セルの移動方向	
10			昇順並べ替え	
11			降順並べ替え	
12			並べ替え...	
13			分類定義で並べ替え	
14			列を表示しない	
15			隠し列を再表示	
16			画面データを印字発行	
17			呼出番号自動作成	
18				
19				
20				

1 プリセットを発行

呼出番号

1

発行枚数

1

OK

キャンセル

2. 番号指定発行 (オンライン発行)

レイアウトエリアに表示されているプリセットデータを呼出番号・発行枚数を指定してラベル発行することができます。

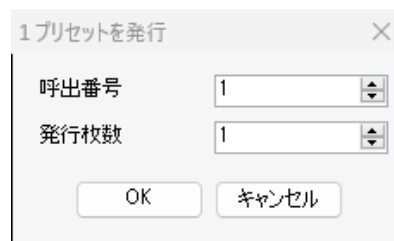
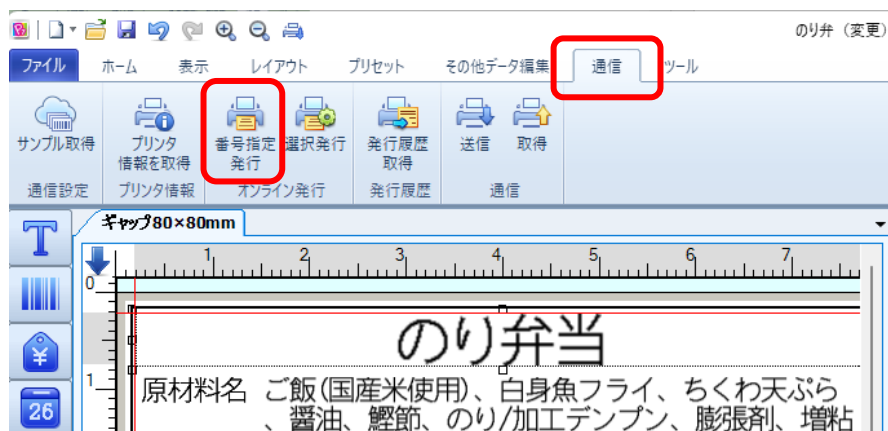
» 番号指定発行する時は、本体を [通信モード] にしてください。

① [通信] リボンの [番号指定発行] をクリックします。

[1 プリセットを発行] ダイアログが表示されます

② [呼出番号] と [発行枚数] を指定して、[OK] をクリックします。

指定した呼出番号のラベルが、指定した枚数分発行されます。



3. 選択発行（オンライン発行）

レイアウトエリアに表示されているプリセットデータの呼出番号を選択して発行枚数を指定してラベル発行することができます。

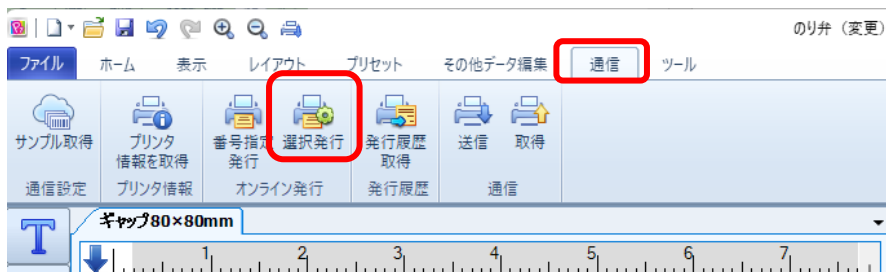
» 番号指定発行する時は、本体を「通信モード」にしてください。

① 「通信」 リボンの「選択発行」をクリックします。

「選択発行」ダイアログが表示されます。

② 「呼出番号」と「発行枚数」を指定して、「OK」をクリックします。

指定した呼出番号のラベルが、指定した枚数分発行されます。



①【選択データ発行】発行したい呼出番号の行のいずれかのセルを選択して背景を青色にすると、その呼出番号のラベルを発行します。複数の呼出番号を選択することもできます。

②【表示分類データを一括発行】発行したい呼出番号の行のいずれかのセルを選択して背景を青色にすると、同じ分類（行の番号に同じ着色がされています。）の呼出番号のラベルを発行します。

③【表示レイアウトのデータ一括発行】発行したい呼出番号の行のいずれかのセルを選択して背景を青色に選択すると、同じレイアウト名の呼出番号のラベルを発行します。

④【全レイアウトのデータを一括発行】いずれかの呼出番号のセルを選択して背景を青色に選択すると、全レイアウト名の呼出番号のラベルを発行します。

ACアダプターの取り外し

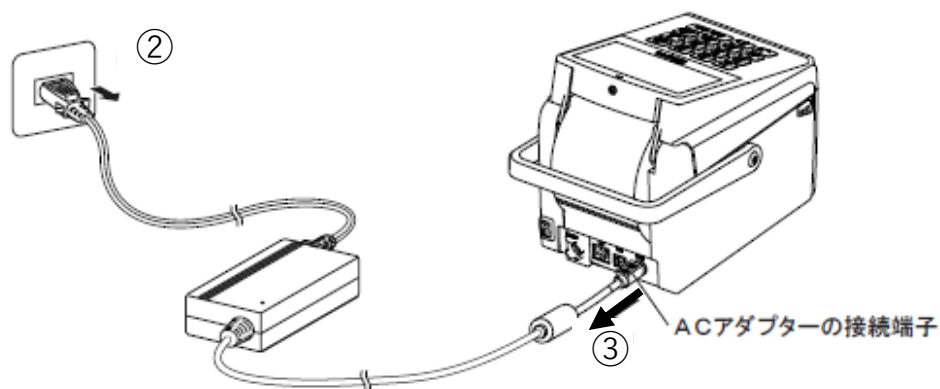
① タッチパネルに終了の表示がされるまで電源スイッチを約1秒長押しし電源をオフにします。

※ 電源ランプが消灯していることを確認してください。



② 電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

③ 電源ACアダプターの接続端子がすぐ抜けないようになっていしますので、引き抜くときはACアダプターの接続端子を手前にスライドさせたままゆっくり引き抜いてください。



【サンプルデータご紹介】

ホームページからサンプルデータをダウンロードできます。
右のQRコードを読み取るか、下記のURLを入力してアクセスしてください
<https://www.shinseisol.co.jp/>

新盛ソリューションズ

検索



企業情報

お問い合わせ

バーコードシステム

自動認識デバイス

サポート

ダウンロード

お知らせ



カタログ

電子カタログ（PDFファイル）をダウンロードできます



マニュアル

製品を上手にお使いいただくための電子マニュアル（PDFファイル）をダウンロードできます



ソフトウェア

お使いの製品のソフトウェアをダウンロードできます（外部サイトへ移動します）



ドライバ

お使いの製品のドライバをダウンロードできます（外部サイトへ移動します）



サンプル/テンプレート

ラベルの印字サンプル、テンプレートをダウンロードできます

【サンプルデータ一例】

洋菓子
要冷蔵（10℃以下）
お早目にお召し上がり下さい
消費期限 2022. 01. 23
洋菓子 shinsei
東京都千代田区外神田5-4-9
Tel 03-5818-7861

4 901234 567894
茨城県産
やきいも
観光いばらき
原材料名 さつまいも
消費期限 2022. 01. 23
本体価格 ¥128
税込価格 ¥138
加工者 株式会社新盛コーポレーション
東京都千代田区外神田5-4-9
フィルム

名称 米菓
原材料名 うるち米(国産)、植物油、小麦でん粉、砂糖、醤油(大豆を含む)、醸造調味料、砂糖混合ぶどう糖加糖液糖/調味料(核酸)、カラメル色素
内容量 10枚
賞味期限 2022年01月23日
保存方法 直射日光、高温多湿を避けて保存してください
製造者 株式会社新盛米菓
東京都北区堀船4-12-15 TEL 03-3913-0131
栄養成分表示(1枚あたり)(推定値)
熱量 たんぱく質 脂質 炭水化物 食塩相当量
170 kcal 2.6 g 11.5 g 13.7 g 0.4 g
開封後はお早めにお召し上がりください

桃農家の手作りジャム
名称 桃のジャム
原材料名 桃(岡山産)、砂糖、ゼラチン、洋酒、レモン
内容量 350 g
賞味期限 2022年01月23日
保存方法 直射日光、高温多湿を避けて保存し、開封後は冷蔵庫で保管してください。
製造者 いがピーチファーム
岡山県笠岡市1-2-3
TEL: 0865-12-1234
＜栄養成分表示＞ 100gあたり
熱量 63kcal 炭水化物 14.6g
たんぱく質 0.7g 食塩相当量 0.1g
脂質 0.2g 【推定値】